

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2014-526342(P2014-526342A)

【公表日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2014-530798(P2014-530798)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月11日(2015.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚充填剤組成物であって、

架橋成分と架橋結合されたヒアルロン酸成分と、

添加剤としてのビタミンC誘導体と、を含み、

前記組成物は、実質的に光透過性であり、

前記組成物は、患者の皮膚領域中に投与されるとき、前記添加剤を含まないことを除いて実質的に同一である組成物と比べて、低減されたチングル現象を示す、組成物。

【請求項2】

前記添加剤は、L-アスコルビン酸2-グルコシド(AA2G)である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記添加剤は、リン酸3-アミノプロピル-L-アスコルビルである、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記ヒアルロン酸成分は、前記添加剤に化学的に結合される、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記ヒアルロン酸成分は、約3モル%～約40モル%である結合度で、前記添加剤に化学的に結合される、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記ヒアルロン酸成分は、約3モル%～約10モル%である結合度で、前記添加剤に化学的に結合される、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記架橋成分は、B D D Eである、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

麻酔剤をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項9】

リドカインをさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

約 40 Pa ~ 約 100 Pa の G' 値を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

約 100 Pa 以下の G' 値を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

約 40 Pa 以上の G' 値を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 3】

患者の皮膚における細線を治療するための、請求項 1 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

。

【請求項 1 4】

顔面の審美的外観を改善するための注入可能な皮膚充填剤組成物であって、

患者の皮膚領域に投与され、チンダル現象を何ら示さないか、または有意でないチンダル現象を示し、実質的に光透過性であり、

架橋剤で架橋結合されたヒアルロン酸成分と、

前記架橋剤に共有結合された添加剤としてのビタミン C またはビタミン C 誘導体と、を含み、

均一化および中和されている、組成物。

【請求項 1 5】

前記添加剤は、ビタミン C 誘導体である、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

前記添加剤は、AA2G である、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

前記添加剤は、リン酸 3 - アミノプロピル - L - アスコルビルである、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 8】

前記ヒアルロン酸成分は、前記添加剤に化学的に結合される、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 9】

前記ヒアルロン酸成分は、約 3 モル % ~ 約 40 モル % である結合度で、前記添加剤に化学的に結合される、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 0】

前記ヒアルロン酸成分は、約 3 モル % ~ 約 10 モル % である結合度で、前記添加剤に化学的に結合される、請求項 1 4 に記載の組成物。

【請求項 2 1】

患者の薄い皮膚領域における細線の出現を低減するための皮膚充填剤組成物であって、ヒアルロン酸をベースとし、ビタミン C またはビタミン C 誘導体を含み、実質的に光透過性であり、

前記患者に、約 1 mm を超えない深さで投与される、組成物。

【請求項 2 2】

約 0.8 mm を超えない深さで注入される、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 3】

約 0.6 mm を超えない深さで注入される、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 4】

約 0.4 mm を超えない深さで注入される、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 5】

皮膚充填剤組成物であって、

架橋成分と架橋結合されたヒアルロン酸成分と、

少なくとも約 3 モル % の結合度で、前記ヒアルロン酸成分に共有結合されたビタミン C またはビタミン C 誘導体と、を含み、

前記組成物が、実質的に光透過性であり、約 40 Pa ~ 約 100 Pa の G' 値を有する組成物。

**【請求項 2 6】**

約 1 8 m g / g ~ 約 3 0 m g / g のヒアルロン酸濃度を有する、請求項 2 5 に記載の組成物。

**【請求項 2 7】**

約 1 2 m g / g ~ 約 3 0 m g / g のヒアルロン酸濃度を有する、請求項 2 5 に記載の組成物。

**【請求項 2 8】**

前記結合度は、約 1 0 モル % である、請求項 2 5 に記載の組成物。

**【請求項 2 9】**

前記ヒアルロン酸は、少なくとも 9 0 % が低分子量 H A である、請求項 2 5 に記載の組成物。

**【請求項 3 0】**

前記ヒアルロン酸成分は、実質的に完全に低分子量 H A である、請求項 2 5 に記載の組成物。

**【請求項 3 1】**

顔面における細線の出現を低減するための注入可能な組成物であって、前記組成物は、1, 4 - ブタンジオールジグリシジルエーテル ( B D D E ) 架橋結合低分子量ヒアルロン酸 ( H A ) であって、約 3 0 0 K ダルトン ~ 約 9 0 0 K ダルトンの平均分子量を有する、H A と、

前記ヒアルロン酸に共有結合されたビタミン C 誘導体であって、結合度が、約 1 0 モル % である、ビタミン C 誘導体と、を含み、

前記組成物は、約 6 0 P a ~ 約 8 0 P a の G ' 値を有する、組成物。

**【請求項 3 2】**

前記 H A は、約 3 0 0 K ダルトン ~ 約 5 0 0 K ダルトンの平均分子量を有する、請求項 3 1 に記載の組成物。

**【請求項 3 3】**

前記組成物は、約 8 0 P a の G ' 値を有する、請求項 3 2 に記載の組成物。

**【請求項 3 4】**

光透過性である、請求項 3 1 に記載の組成物。

**【請求項 3 5】**

約 2 5 m g / g の H A 濃度を有する、請求項 3 1 に記載の組成物。